

平成26年度事業報告

1 展 示

(1) テーマ展「愛宕信仰と山麓の村」

会 期 平成26年2月1日(土)～4月23日(水)
開館日数 68日(平成26年度分:20日)
入館者数 4,998人(平成26年度分:1,376人)
内 容 愛宕信仰とその核となる愛宕神社を支えた山麓の村落(水尾・檜原・越畑)に焦点を当て、絵図や古文書などの諸史料を展示しました。

(2) 特別展 叢書京都の史料刊行記念「桂川西岸の村社会」

会 期 平成26年4月26日(土)～8月6日(水)
開館日数 84日
入館者数 2,626人
内 容 叢書京都の史料刊行を記念して行う特別展示。旧葛野郡岡区事務日誌を中心に、当地域をさまざまな資料から解説しました。

(3) テーマ展「蛤御門の変と「どんどん焼け」- あれから150年-」

会 期 平成26年8月9日(土)～11月19日(水)
開館日数 87日
入館者数 6,466人
内 容 元治元年(1864)7月19日に起きた蛤御門の変から150年。この変の火災による都市復興は、京都の近代化にも影響を与えました。同変から150年を期に、火災とその被害を文書・絵画・かわら版などから解説しました。

(4) テーマ展「新・京のかたち6 都市計画の20世紀」

会 期 平成26年11月22日(土)～平成27年3月25日(水)
開館日数 96日(1月末時点:51日)
入館者数 2,249人(1月末時点)
内 容 明治末の三大事業に始まり、大正、昭和に続く都市計画事業や戦後の建物疎開跡地の整備、高度成長期以降の開発と保全をめぐる動向等をとおして、20世紀における京都という都市の拡がりの変貌について理解を深めていただきます。

(5) 特別展 第四十二回式年遷宮記念「重要文化財 賀茂別雷神社の古文書」

会 期 前期 平成27年3月28日(土)～4月22日(水)
後期 平成27年4月25日(土)～5月27日(水)
内 容 重要文化財 賀茂別雷神社文書 14000点のうちから同社の歩みをみるうえで貴重な史料を厳選し、古代から近世までを通覧します。本展は賀茂別雷神社と共催。

2 講 座

(1) 連続講座「古文書を楽しく読もう！」

期 日 春期連続講座(5月) 毎週木曜日・計4回

5月15日/22日/29日/6月5日

A組 13時～14時30分

B組 15時～16時30分

秋期連続講座(10月) 毎週火曜日・計4回

10月7日/14日/21日/28日

A組 13時～14時30分

B組 15時～16時30分

会場	同志社新島会館
講師	春期講座 伊東 宗裕 秋期講座 松中 博
受講者数	春期講座 A組 48名(応募67名, 当選48名) B組 43名(応募68名, ") 秋期講座 A組 46名(応募64名, ") B組 46名(応募58名, ")

(2) 歴史講座「桂川西岸の村々と洛中のつながり」

期 日 平成26年5月24日(土) 13時30分～15時

会場 西京区役所

講師 松中 博

受講者数 63名(応募72名)

(3) 歴史講座「古文書からわかる江戸時代の檜原」

期 日 平成26年6月28日(土) 13時30分～14時30分

会場 檜原公会堂(西京区)

講師 松中 博

受講者数 32名(地域限定, 事前申込不要)

(4) 夏休み親子歴史教室「大文字五山送り火の歴史」

期 日 平成26年8月15日(金) 10時～12時

会場 同志社新島会館

講師 松中 博

対象 小学校4・5・6年生児童とその保護者

受講者数 28組62名(応募38組84名)

(5) 歴史講座「蛤御門の変と「どんどん焼け」」

期 日 平成26年9月17日(水) 18時30分～20時

講師 伊東 宗裕

受講者数 43名(応募54名)

(6) 歴史講座「都市計画地図はこうしてつくられた」

期 日 平成26年12月10日(水) 18時30分～20時

講師 松中 博

受講者数 37名(応募46名)

(7) 歴史講座「カモ氏と上賀茂の社」(賀茂別雷神社との共催)

期 日 平成27年4月9日(木) 14時～15時30分

会場 賀茂別雷神社参集殿

講 師 井上館長
募集定員 120名

(8) 歴史講座「賀茂別雷神社の祭祀と文化」(賀茂別雷神社との共催)

期 日 平成27年5月8日(金)14時～15時30分
会 場 賀茂別雷神社参集殿
講 師 宇野日出生
募集定員 120名

(9) 京都アスニー・アスニー山科協力講座

ア 「岩倉具視の幕末維新」

期 日 平成26年4月16日(水)
会 場 アスニー山科(学びのフォーラム山科)
講 師 宇野日出生

イ 「桓武天皇と渡来人の母」

期 日 平成26年5月17日(土)
会 場 京都アスニー(アスニー京都学講座)
講 師 井上館長

3 「叢書 京都の史料」の刊行

歴史資料館収集古文書の編集・刊行を継続しています。平成27年度の第14回配本「内裏
図集成 京都御所と公家町」について、調査・執筆準備を進めています。

4 古文書の調査と収集

京都市内に所在する文書を調査・収集しています。

5 資料の収集・整理・研究

京都の歴史に関する研究センター的役割を担うため、文献を中心とした資料の積極的な収
集・整理・研究を行っています。

6 資料の供用・普及

資料(古文書を含む)の閲覧・複写など、当館収集資料の公開・利用を進めています。ま
た、京都の歴史に関する相談にも対応しています。

7 博物館実習生の受入

京都市内の各大学からの要請を受け、博物館実習生を受け入れ、館員の指導による実習を
実施しました。

(期間:平成26年8月26日(火)～29日(金)の4日間)

期 間 平成26年8月26日(火)～29日(金)の4日間

受入大学 大谷1, 京都女子1, 京都橘2, 同志社1, 立命3 計8名

内 容 古文書解説, 史料整理・補修, 図書分類等

8 京都市政史の編さん

『京都市政史 第3巻』第5回配本（最終巻）「財政のあゆみ 市政史年表」を刊行（平成27年3月10日）し、市政史編さん事業を終了します。併せて「京都市政史編さん通信」（最終号、本年度2回目）を発行します。

9 歴史的公文書の指定及び保存について

総合企画局情報化推進室（文書担当）と協議を行いながら、歴史的公文書の指定に関する調整を行っています。

10 情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」の運営

平成17年4月にインターネット上で発信を開始した情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」には多くの市民の方々からアクセスがあり、引き続き、項目追加・内容修正を中心に運営しています。

11 史料管理システム「文書一覧」の運営

平成22年9月1日からホームページ上で公開した写真帳の「文書一覧」について、加筆訂正を主とした内容充実に努めています。特に、文書解説については掲載済みの10区に加え、伏見区及び館蔵文書を追加しました。

12 対岳文庫（国登録有形文化財）展示室の展示協力

平成25年5月から常設展示（適宜展示替え）となった対岳文庫において、引き続き、岩倉具視の関係資料の展示に協力しています。

13 平成27年度特別展「実相院門跡－幽境の名刹」（仮称、京都文化博物館共催）に向けて

平成28年2月の開催に向けて、準備作業を進めています。

14 関係機関への協力

（1）報道機関・出版社等への情報提供

新聞社・テレビ局・出版社等へ歴史情報の提供を行いました。歴史知識の普及という趣旨に基づいて積極的かつ誠実な対応に努めています。

（2）関係機関への講師派遣等

関係機関が開催する講座の講師派遣依頼等については、職務に支障のない範囲において出来る限りの協力を行いました。

15 研究紀要の刊行

研究報告書である『京都市歴史資料館紀要』第25号を刊行します。